

◆事業概要

平成21年度より介護の仕事の普及啓発イベント「介護のコト体験フェア」を実施。平成28年度からは若年層を中心とした幅広い世代を対象として、保育・障害も含めた福祉の仕事の魅力を発信するイベント「TOKYO SOCIAL FES」を実施した。

平成30年度以降は、開催日や会場などの制約に縛られず、広がりを持った普及啓発を実施するため、通年のキャンペーン方式に転換。シンボルとして、(株)サンリオとライセンス協定を締結し、「ハローキティ」を「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」に任命。

ハローキティの訴求力を生かしながら、様々な媒体を活用し福祉の仕事のイメージアップに取り組む。



◆2018年度から2021年度までの主な取組

<2018年度>

- 「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」任命式
- 福祉の仕事の魅力を伝える普及啓発動画を作成し、新宿駅東口ビジョン等での放映や、YouTube広告を実施
- 「保育のおしごと応援フェスタ」、「福祉の仕事就職フォーラム」でのキティ出演、ノベルティグッズの配布

<2019・2020年度>

- ハローキティが登場する動画を作成し、都内主要駅や街頭ビジョン、YouTube広告等での放映
- 冊子、リーフレットを作成し、都内全中学2年生（約120,000部）及び都内全大学（約37,000部）等に配布
- 学園祭（大正大学、東洋大学）でのブース出展や、渋谷駅構内展示イベントを実施し、ノベルティグッズを配布
- 若年層を対象としたSP版Yahoo!Japanトップページでのバナー広告の実施
- 保育のおしごと応援フェスタでのブース出展、ノベルティグッズの配布

<2021年度>

- 高校生を中心とした若年層向けのTwitter広告の実施、ハローキティの登場する漫画を掲載した、特設サイト「教えて！ハローキティ 福祉の仕事ホントのところ」の開設
- コロナ禍における離職者、転職者を対象としたTwitter、Instagram、GDN等を活用した広告の実施、「福祉のお仕事適職診断」コンテンツ等を掲載した「福祉のお仕事情報サイト Helloエッセンシャルワーク」の開設
- 大学生向けの就職活動イベントへの福祉事業者のブース出展
- Twitterでの定期的な情報発信

上記の他にも、福祉人材関連の各事業でハローキティのデザインを活用



◆2022年度の展開予定

引き続きハローキティをイメージキャラクターとして起用し、令和3年度に作成した広告素材やサイト等を活用することで、より多くの方々に福祉業界の魅力や正しい実態を伝えるための情報発信を、SNS等の媒体を通じて実施していく。

（取組内容）

- 高校生の若年層を対象とした広告の実施
- 離職者・転職者層を想定した広告の実施
- 就職活動イベントでのブース出展

- 左記に加え、引き続き「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー事務局」公式Twitterで情報発信を行うほか、福祉人材関連の各事業において広くハローキティを活用していく。

